

2020年—レプリカントは人類に宣戦布告!

ハリソン・フォード主演

ブレードランナー

HARRISON FORD IS
BLADE RUNNER

ジョー・バレンチオ & バッド・コーキン 提供
マイケル・ティラー・リトリースコット・プロダクション

主演: ハリソン・フォード

BLADE RUNNER 音楽: ルトガー・ハウワー ショーン・ヤング

エドワード・シェームス・オルモス 脚本: ハンフトン・ファンチャー & デビッド・ピーブルス

制作総指揮: フライアン・ケリー & ハンフトン・ファンチャー 視覚効果: タグ・ラストランブル

オリジナル音楽: バンゲリス 共同製作: アイボリー・パヴェル 製作: マイケル・ティラー 監督: リトリースコット



A LADD COMPANY RELEASE IN ASSOCIATION WITH SIR RUN RUN SHAW

© 1987 WARNER BROS. A LADD COMPANY. ALL RIGHTS RESERVED.

ブレードランナー

★キャスト★

リック・デッカー……ハリソン・フォード
レイチェル……ショーン・ヤング
ロイ・バットー……ルトガー・ハウワ
ガフ……エドワード・オルモス
ブライアント……M・エメット・ウォルシュ
タイレル……ジョー・ターケル

★スタッフ★

監督……リドリー・スコット
製作……マイケル・デイリー
原作……フィリップ・K・ディック
美術……シド・ミード
特殊効果……ダグラス・トランプル
音楽……バンゲリス



★SFを超えるSF
「サイエンスエンターテインメント」地球は40年後、どうなっているか？2019年、400階の超高層ビル群がそびえ立つアメリカの巨大都市。人口過剰と環境汚染にみちた地球から逃れるため、何百万という人たちが、ほかの惑星へと移住して行った。人間たちはスター・ウォーズ（惑星戦争）にそなえて、「レプリカント」と呼ばれる高度に発達したアンドロイド（人造人間）を製造していた。すべてにおいて人間以上の能力を持ちながら、レプリカントはまたスペースコロニー（植民惑星）における奴隷でもあった。

この映画は、スペース・コロニーから脱走して地球に潜入し、人間になりすまして復讐を果たし、宇宙圏征覇を狙う強力なレプリカント軍団と、無力な警察になりかわって敢然とひとり立ち向かう非情な特別捜査員との想像を絶した壮烈な闘いを主軸に、悪夢と化した明日の世界を製作費52億円を投入してリアルな迫力で映像化し、終始徹底したハードボイルド・アクションで描く世紀のサイエンス・エンターテインメント大作である。



★全世界が注目！ハリソン・フォードの最新巨篇！
主役の特捜員「ブレードランナー」に扮するのは、「スター・ウォーズ」シリーズと「レイダース/失われたアーク」のヒーローを演じ新時代のスターとしていまや人気最高潮のハリソン・フォード。宿敵となるレプリカントのリーダーには「ナイトホークス」の世界征服をもくろむ恐るべき悪役で名をあげたオランダの名優ルトガー・ハウワ。神秘的な魅力で「ブレードランナー」の心をとりにする女に「パラダイス・アミー」のショーン・ヤング。そのほか、エドワード・オルモス、M・エメット・ウォルシュ、ジョー・ターケル、ブライアント・ジェームス、ジョアンナ・キャシディなどの多彩な助演陣が脇を固めている。

★アカデミー賞の常連！超A級スタッフがつめた
監督は、やはり斬新なSF大作「エイリアン」の世界的ヒットでいちやく注目を集めた稀代のビジュアリスト、リドリー・スコット。「エイリアン」でチームを組んだラッド・カンパニー社長のアラン・ラッドの希望で今回も演出を手がけることになったのである。そして、スペース・テクノロジの最新技術を駆使してスケールの大きい特殊効果をふんだんに見せてくれるのが、ダグラス・トランプル率いるトランプル・エンターテインメント・エフェクツ・グ

★ストーリー
遂に事件は起こった——緊急情報報によると、ネクサス・シックス型レプリカントが4名、スペース・シヤトルを乗り取り、管轄都市近辺に着陸したというのだ。

隊長のブライアントの脳裏に、すぐさまある男が浮かんだ。人間でない殺人者たかを識別する能力にかけあいつの右に出るものはない。その男の名はリック・デッカー（ハリソン・フォード）——元警官で、すこ腕のブレード・ランナーだ。

強引にこの事件を引き受けさせられたデッカーは、ただちに製造元のタイレル社に赴く。社長のタイレル自身から、ネクサス・シックス・レプリカントについて情報を仕入れ



る。トランプルは「2000年宇宙の旅」「未知との遭遇」「スター・トレック」などでアカデミー賞にノミネートされた特殊効果の第一人者である。製作は「ディア・ハンター」でアカデミー賞に輝いたマイケル・ディリー。

★今は亡き巨匠フィリップ・K・ディックの最高傑作！
一作ごとにスキャンダラスなまでの迫力でまったく新しい文学の世界を展開していく現代SF最大の巨匠フィリップ・K・ディックのベストセラー小説「アンドロイドは電気羊の夢を見るか？」をもとに、ハンpton・ファンチャーとデビッド・ピブルズが脚本を執筆。（ファクトとフィクションをみごとに融合し、第三次世界大戦、惑星植民地、アンドロイド、ロボットアニメを巧みに駆使して、

すぐまじかのリアリスティックな未来の世界を創造し、新しいSF脚本の誕生と絶賛されている。

美術には未来派デザイナーとして名高いシド・ミードの全面的協力を仰ぎ、ファッションはメビウスの名で知られているフランス人コミックアーティスト、ジャン・ジローのアドバイスを受けて完璧を期している。

★これぞ映画の中の映画 この夏最高の面白さだ！
「2000年宇宙の旅」「未知との遭遇」「スター・ウォーズ」「エイリアン」のダイオミズを結集し、スリリングな恐怖感あり、サスペンスフルな臨場感あり、パワフルな衝撃感あり、まさに映画の面白さがぎゅっしり詰まった80年代最高の娯楽SFアクションの豪華な集大成となっている。

るためであった。スピナーで七百階建てのピラミッド型タイレル・ビルに到着。屋上からの訪問である。タイレルのオフィスには、謎めいた美女が、レイチェル（ショーン・ヤング）と名のつてデッカーの気をそそった。タイレルは調査に協力する前にレイチェルをテストしてみているかとデッカーに挑戦してきた。半信半疑で受けたたつたデッカーだが、百以上の質問を重ねたあげく、ようやく確信を持つことができた。彼女は、人間ではなかったのだ。

その間に、レプリカントたちは、街の人ごみの中に消えていた。リーダー格のロイ・バットー（ルトガー・ハウワ）には、ある計画があった。彼らの計画とは何か？——地上数百階の超高層ビルの林立する未来都市に、恐るべき力を持つレプリカントを「ブレードランナー」が追撃する。

7月10日(土)より
ロードショー

渋谷東急文化会館1F
パンテオン
(407)7219

地下鉄東銀座・駐車場完備
松竹セントラル
(541)2714

新宿歌舞伎町
ミラノ座
(202)1189

*特別鑑賞券1200円(一般1500円(の処)学生1300円)絶賛発売中

■上映時間(全館共通)
連日 11:30 2:00 4:30 7:00